

# 気象情報で引用する過去災害事例

---

平成16年(2004年)7月18日

## 平成16年7月「福井豪雨」

---

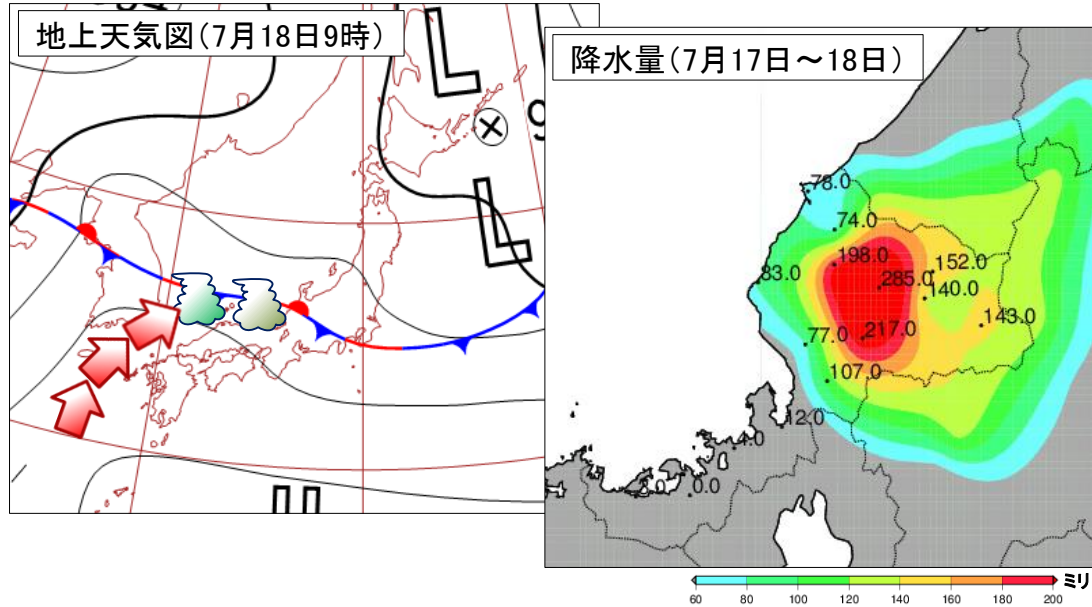
足羽川、清滝川が決壊、嶺北各地で大規模な洪水害や土砂災害

# 平成16年7月「福井豪雨」

## 【気象概況】

平成16年(2004年)、7月18日明け方から朝にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、旧美山町などでは非常に激しい雨が降り続きました。このため、嶺北各地で記録的な大雨となりました。

この大雨により、嶺北各地で堤防の決壊や土砂災害が多数発生し、甚大な被害が発生しました。



美山町洪水災害  
資料提供:美山町役場



美山町土砂災害  
資料提供:美山町役場

## 【観測記録】

7月18日明け方に福井で75ミリ、美山で96ミリの1時間降水量を、美山では、285ミリの12時間降水量(17日23時~18日11時)を観測しました。

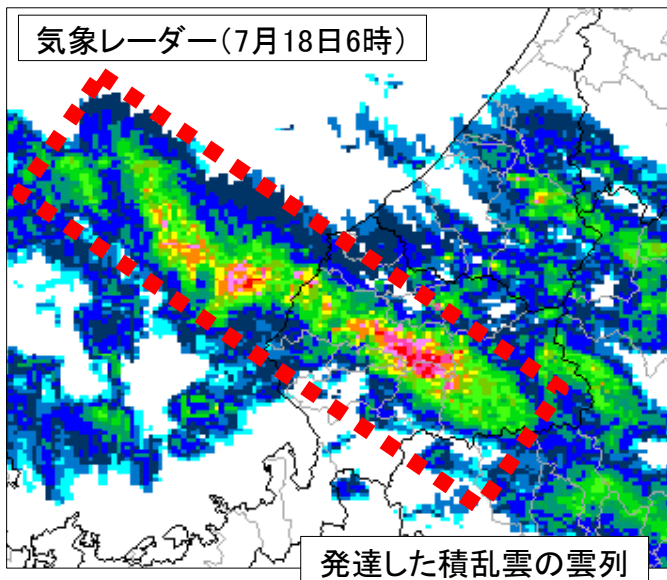
## 【被害の概要】

死者・行方不明者5人  
住家全壊57棟、床上浸水3,323棟  
床下浸水10,334棟  
崖崩れ・地滑り185か所  
堤防決壊2か所:足羽川左岸、大野市清滝川

# 「線状化した積乱雲」足羽川堤防決壊

## 【雨雲の線状化】

海上で発生した雨雲(積乱雲)は、次々と発達した雲列(線状化)を形成し、嶺北沿岸から奥越にかけて組織化しました。これらの積乱雲の列は比較的狭い範囲で集中的に発生しました。



流域の多量の雨が流れ込んだ足羽川では急激に増水したため、7月18日9時には警戒水位を超過し、昼過ぎには決壊したことで水があふれ出し、洪水被害が拡大しました。

